

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 23 年 2 月 17 日 (2011.2.17)

【公開番号】特開 2009-176528 (P2009-176528A)

【公開日】平成 21 年 8 月 6 日 (2009.8.6)

【年通号数】公開・登録公報 2009-031

【出願番号】特願 2008-12882 (P2008-12882)

【国際特許分類】

H 0 1 M 4/525 (2010.01)

H 0 1 M 10/0567 (2010.01)

C 0 1 G 53/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 4/52 1 0 2

H 0 1 M 10/00 1 1 2

C 0 1 G 53/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 22 年 12 月 27 日 (2010.12.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

他方、この残留物は、合成時にアルカリ成分の使用量を少なくすることにより、減らすことができるが、このようにすると、合成反応が未成熟になるため、得られたリチウムニッケル複合酸化物の熱的安定性が悪くなると共に、活物質のインピーダンスを増加させ放電性能を低下させる等、望ましくない結果を生じる。